

# 資料4

平成29年度 第2回 練馬区区政改革推進会議

## 練馬区における都市農業の現状と課題

平成29年9月26日

練馬区 都市農業担当部

都市農業課 / 都市農業調整課

- 1 練馬区には市民生活と融合する生きた農業がある
- 2 区の特徴
- 3 区の課題
- 4 区の実績と成果
- 5 今後の方向性
- 6 これからの取組

## 1 練馬区には市民生活と融合する生きた農業がある

練馬区には住宅地の中になんかの規模で農地が点在し、市民生活と融合した生きた農業が営まれている。

練馬の都市農業は、農業体験農園や果樹あるファームなど、都市住民のニーズに応え発展してきたものであり、**全国の都市農業を牽引**してきた。

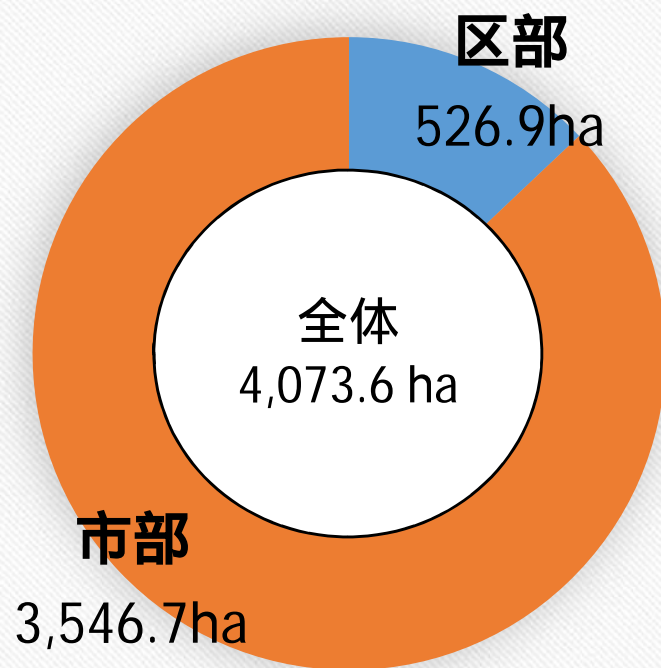
大都市におけるこういった農業・農地のあり方は世界的にも稀有であり、練馬の都市農業は、今後の都市生活を更に豊かにする可能性を持っている。

# 農業・農地と市民生活が融合する代表的な地域

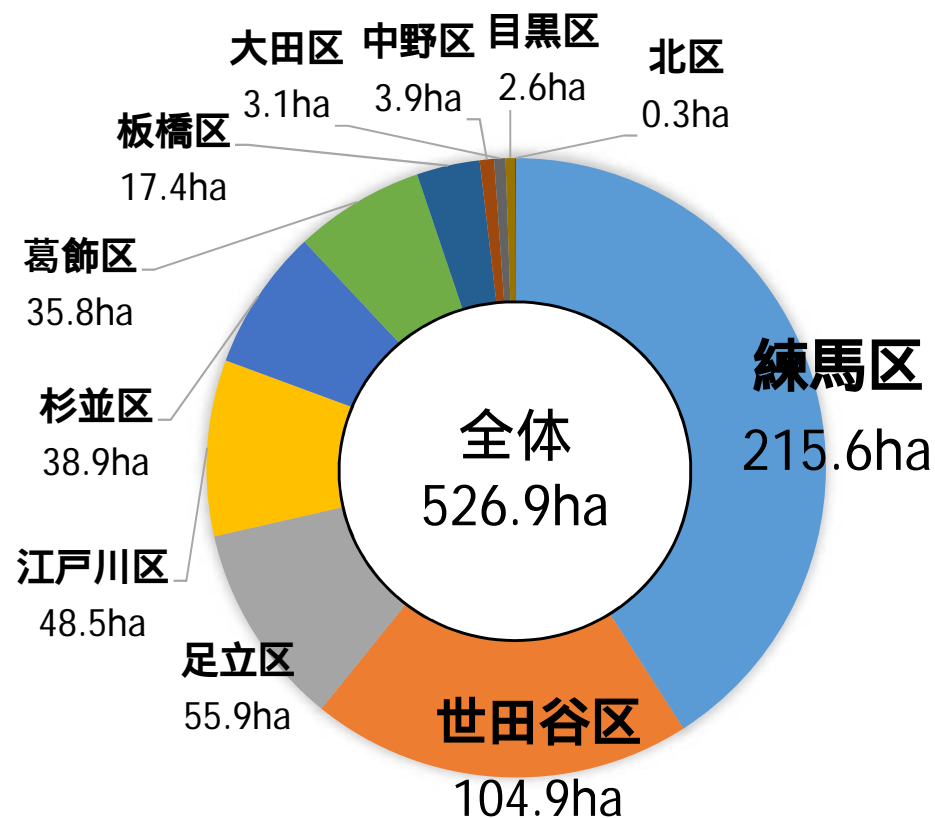


## 2 区の特徴(1) 23区内の農地の約4割を練馬区が占める

区部と市部の  
市街化区域内農地の面積

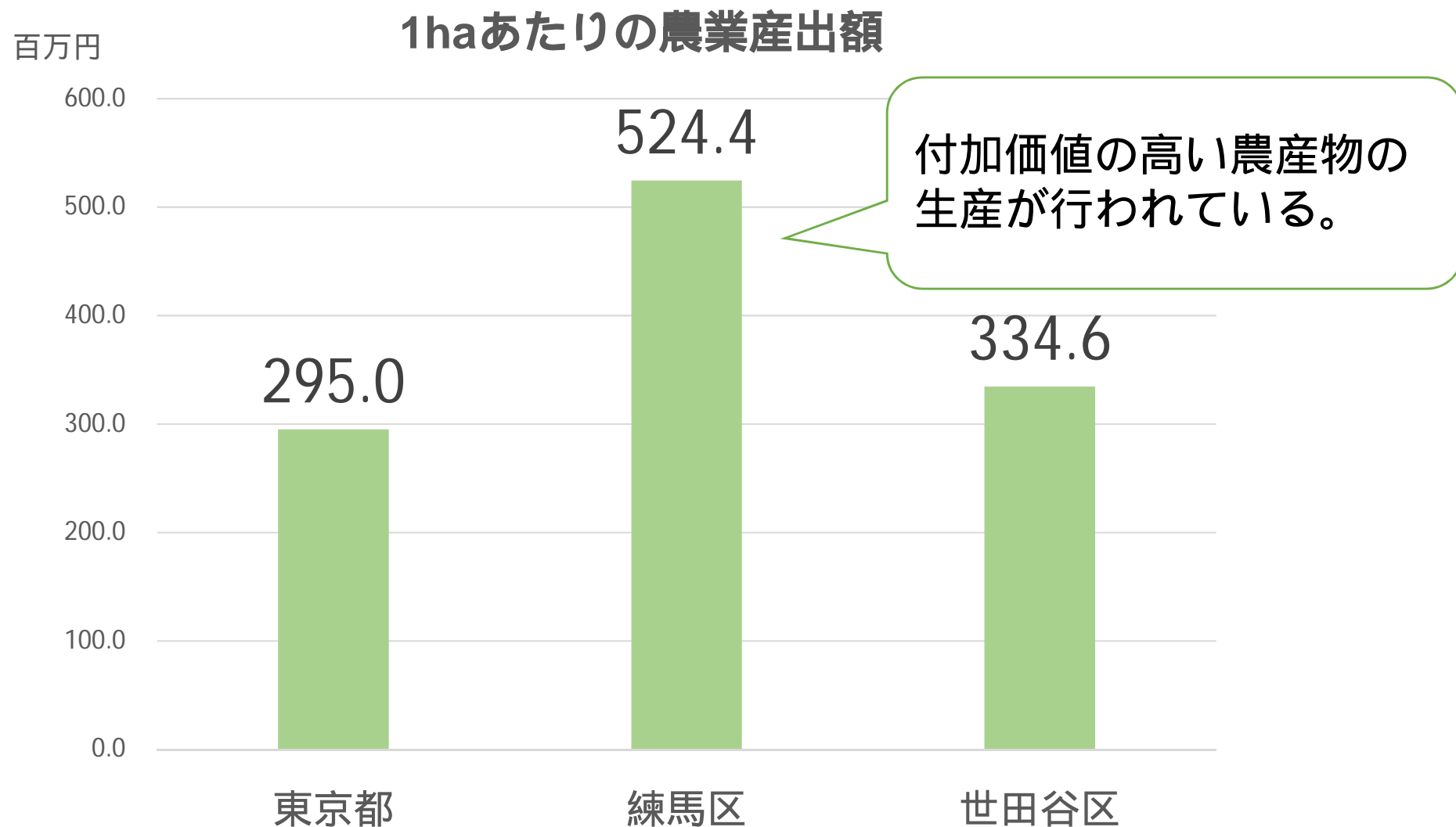


区部の農地面積



東京都農業会議資料 (平成29年3月31日時点)

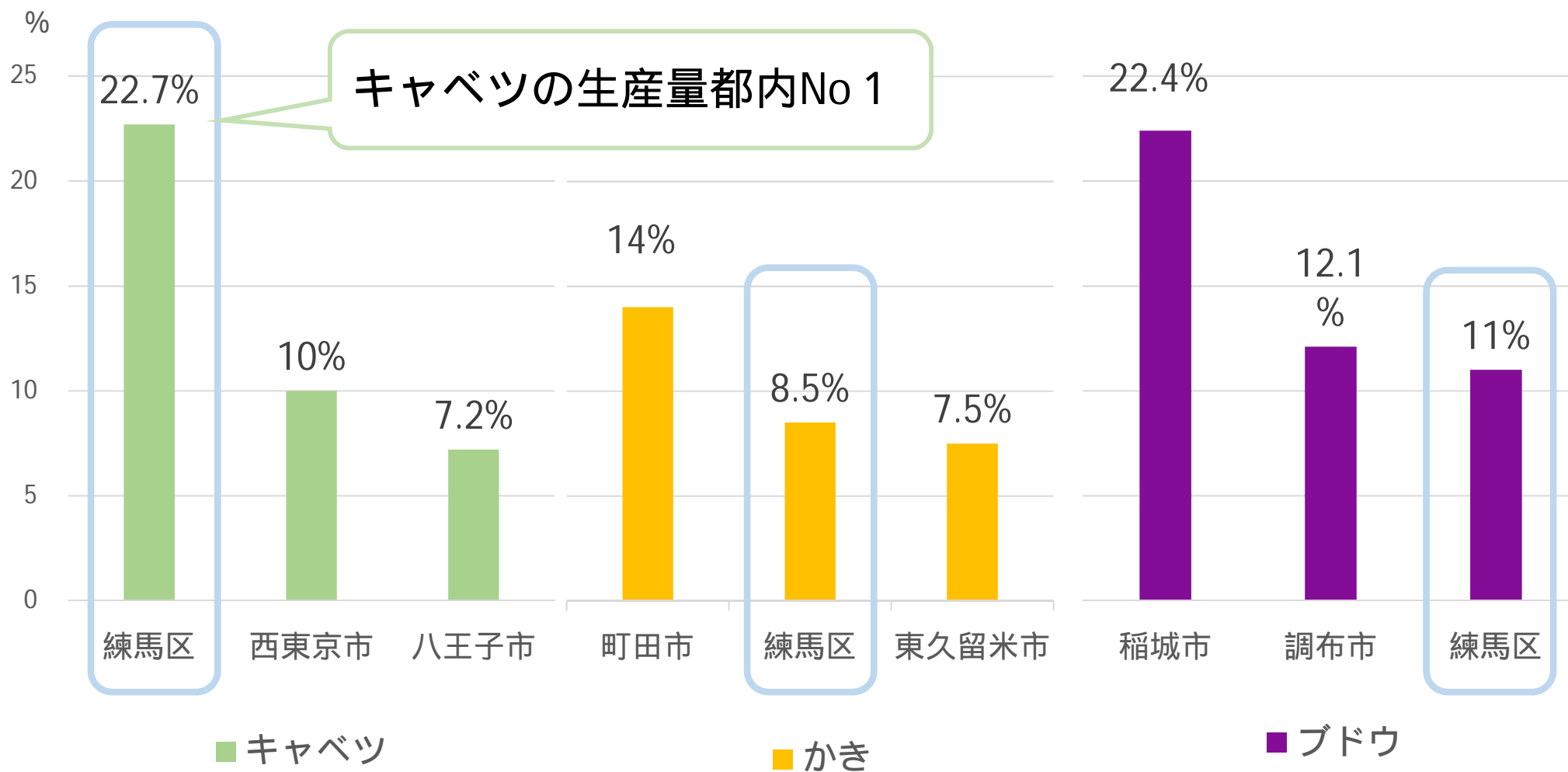
## 2 区の特徴(2) 練馬区の農業者は面積当たりの収入が高い



東京都農業会議「平成29年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」

## 2 区の特徴(3) キャベツの一大生産地、果樹栽培が活発

東京都の生産量に占めるキャベツ、かき、ぶどう生産自治体上位3市区の割合

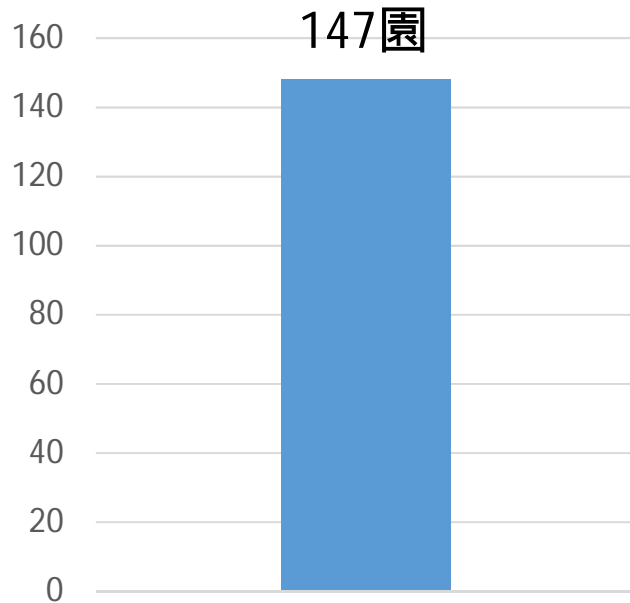


東京都農業会議「平成29年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」

## 2 区の特徴(4) 都心にいながら農に気軽にふれあえる

### 東京都内と練馬区内の観光農園数

園



東京都 (平成27年度)

■ 総数



練馬区 (平成29年度予定)

■ ブルーベリー 30

■ ぶどう 1

■ キウイフルーツ 2

■ みかん 1

■ かき 2

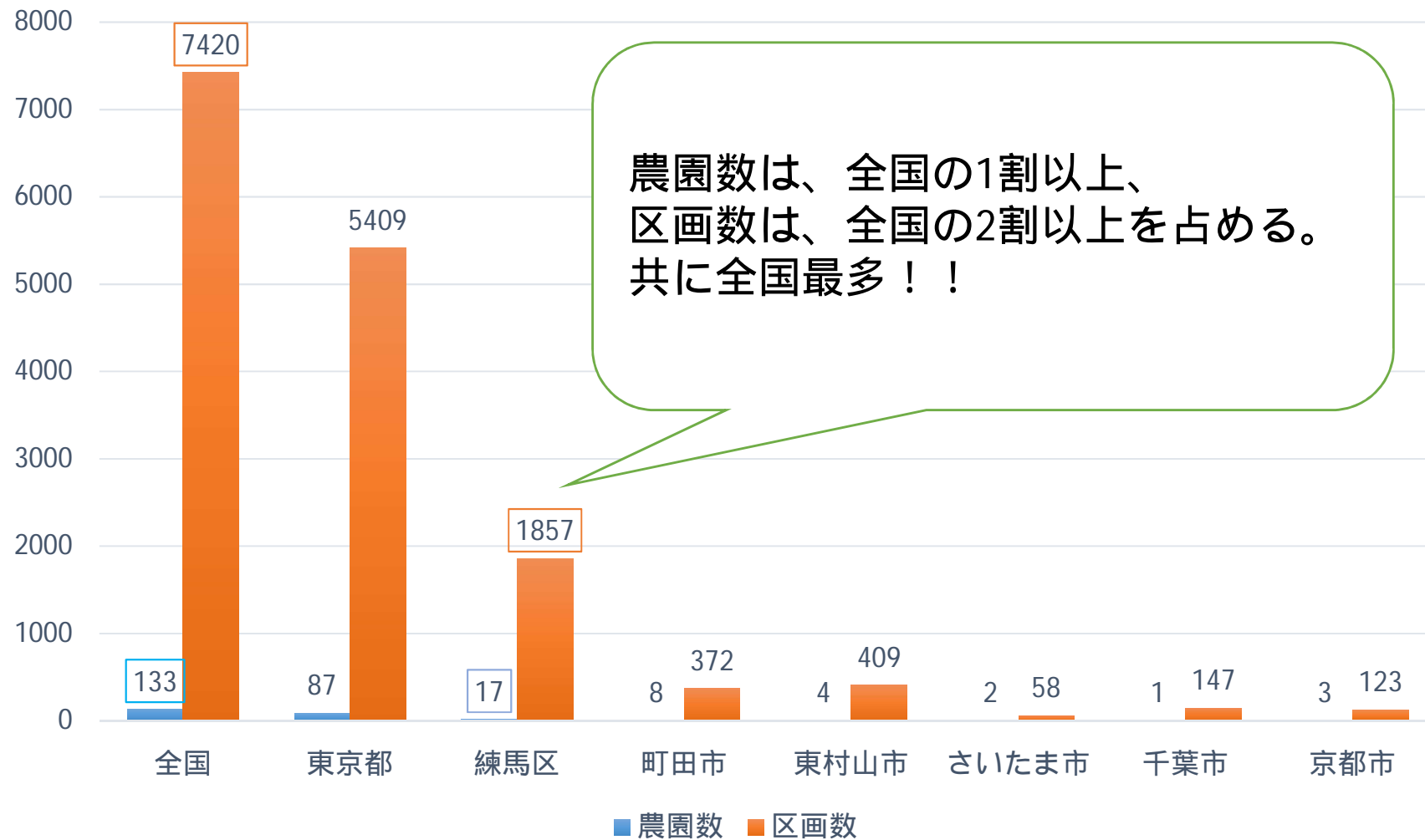
■ いちご 1

都心から約30分。  
練馬には、気軽に行ける  
多様な果樹の摘み取り園  
がある。



## 2 区の特徴(5) 農業体験農園は練馬区発祥！！

### 農業体験農園数および区画数

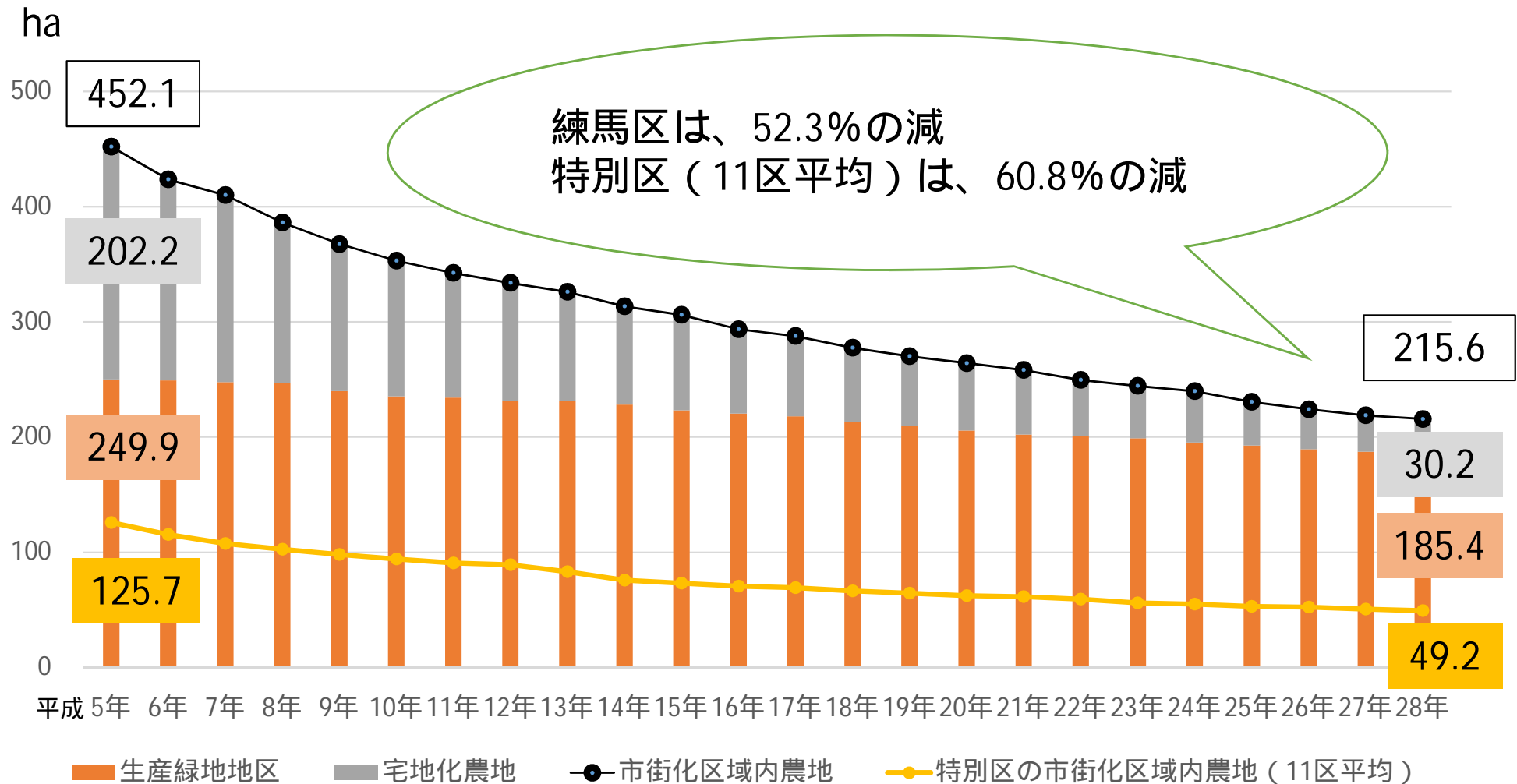


練馬区資料(2016年)



### 3 区の課題(1) この23年間で236.5haの農地が減少

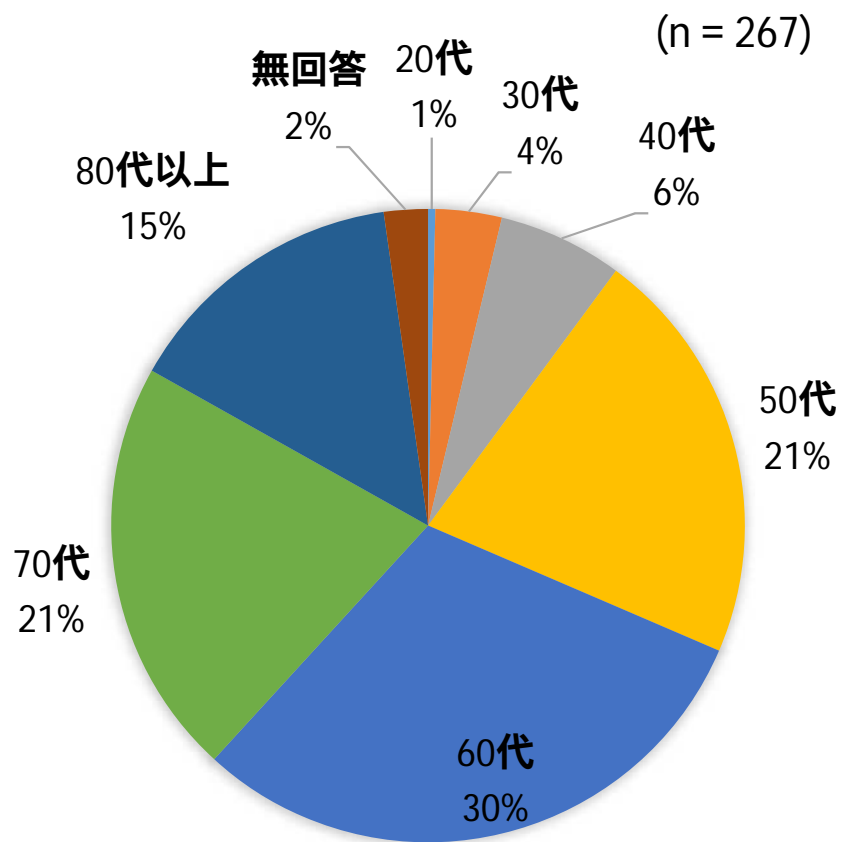
区内農地面積の推移



○市街化区域内農地面積：各年1月1日現在の課税面積に基づく数値  
 ○生産緑地地区面積：各年の都市計画の公示に基づく数値  
 ○宅地化農地面積：市街化区域内農地－生産緑地

### 3 区の課題(2) 農業従事者の高齢化と減少

農作業の主な担い手の年代

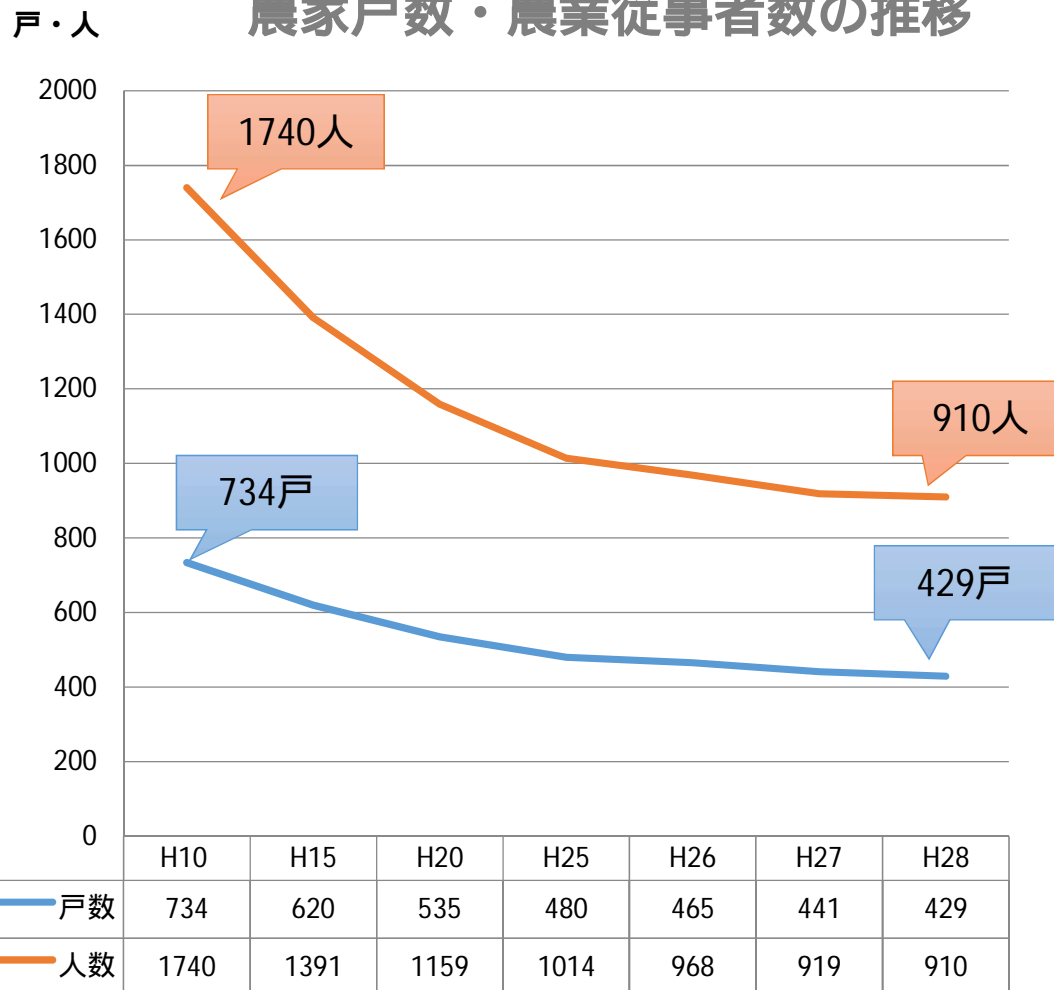


平成26年度練馬区農業者意向調査

【参考】

農業者平均年齢  
 練馬区：63.5歳 東京都：63.9歳  
 (出展：東京都農業会議H29.3)

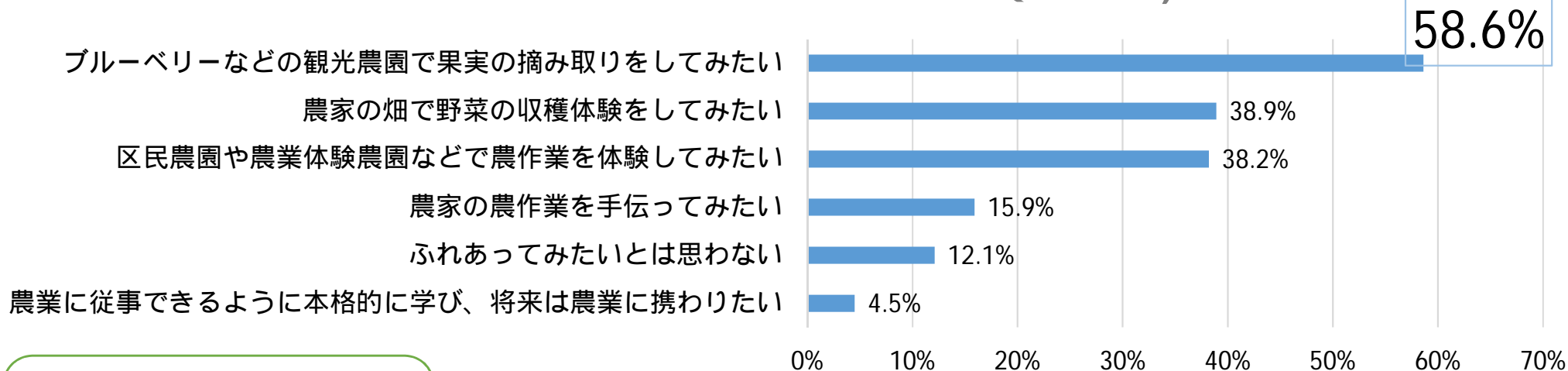
農家戸数・農業従事者数の推移



練馬区農業経営実態調査

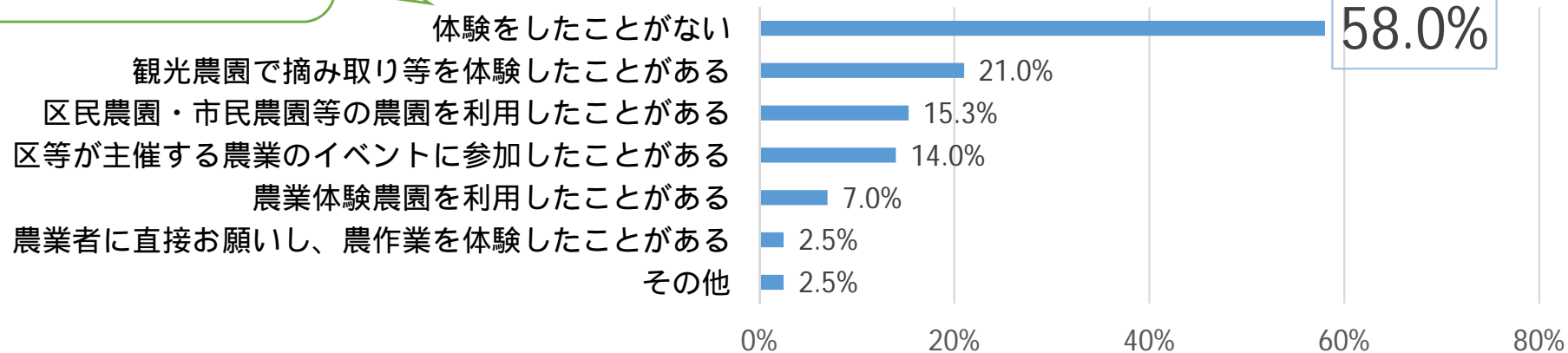
### 3 区の課題(3) 農とふれあいたい区民は多いが...

農とのふれあいに対する意向 (n=157)



58%の区民が農業体験をしたことがない

農業体験の実績 (n=157)



## 4 区の取組と成果

### (1) 国へ制度改革の働きかけ

- ・市街化区域内農地を持つ都内38自治体が会員となる都市農地保全推進自治体協議会の**会長**として国に農地制度等の改正を要望

平成27年4月に**都市農業振興基本法**が制定

都市農地は「**宅地化すべきもの**」から「**あるべきもの**」へ

平成29年5月に**生産緑地法**が一部改正

生産緑地地区の指定に係る**下限面積**が**500㎡**から**300㎡**へ

生産緑地地区内に**直売所**や**農家レストラン**等の設置が可能へ



### 引き続き都市農地の保全に向けた取組を実施

都市農地の保全のためには、大きな課題である、**貸借に係る規制緩和が必要!**

**貸借した生産緑地**にも**買取申出制度**を拡大

**貸借した生産緑地**への**納税猶予制度**の適用拡大

## (2) 意欲的な農業者への支援



### 1 平成27年3月に練馬区農の学校を開校

ねりま農サポーターを育成し、支え手を必要とする農業者とつなげる。

- ・ねりま農サポーター40名を育成（平成29年3月末現在）
- ・支え手を必要とする農業者とのマッチング 31件（平成29年8月末現在）

### 2 経営改善に計画的かつ意欲的に取り組む農業者を練馬区認定農業者、練馬区都市型認定農業者として認定し、支援を実施

- ・認定農業者、都市型認定農業者数 81経営体（平成29年3月末現在）
- ・農業用簿記の講習会、記帳会を開催
- ・経営改善のためのパイプハウス等の整備を支援



### (3) 農とふれあえる機会の充実、魅力の発信

1 練馬果樹あるファームの推進 29年度：観光農園 37園、果実の直売54か所

	観光農園	直売所
ブルーベリー	30	15
ぶどう	1	11
みかん	1	8
キウイフルーツ	2	4
かき	2	8
いちご	1	4
くり	0	4

区内外から約3万人の人が摘み取りを楽しみに来ている。



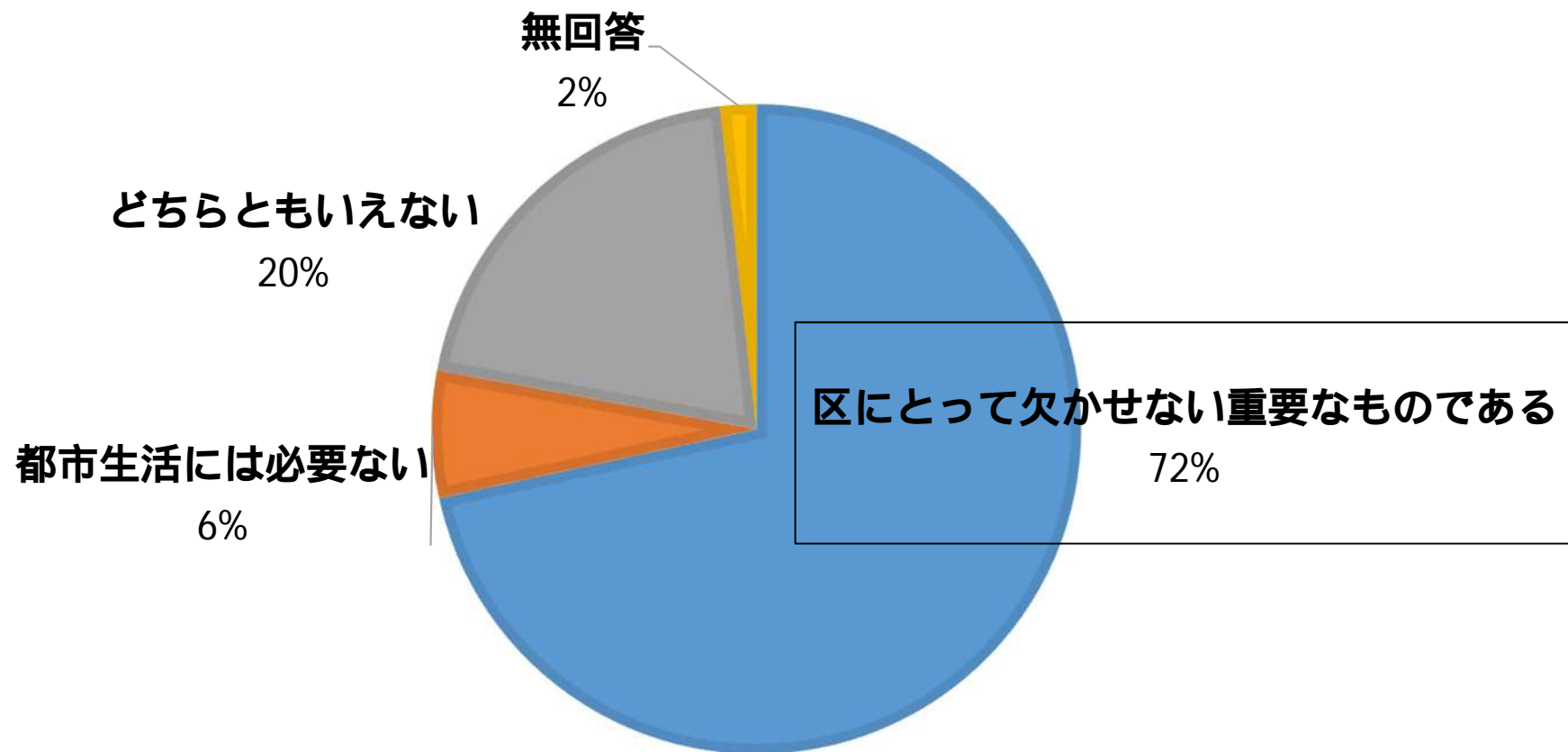
2 ねりマルシェの開催 28年度：24回開催

消費者と生産者を繋げるマルシェ。ねりマルシェには、『さっきまで畑にあった』新鮮な農産物が並ぶ。区内各地で農業者自らが商業者と連携し、マルシェを開催している。



## 5 今後の方向性(1) 区民にとって農地とは

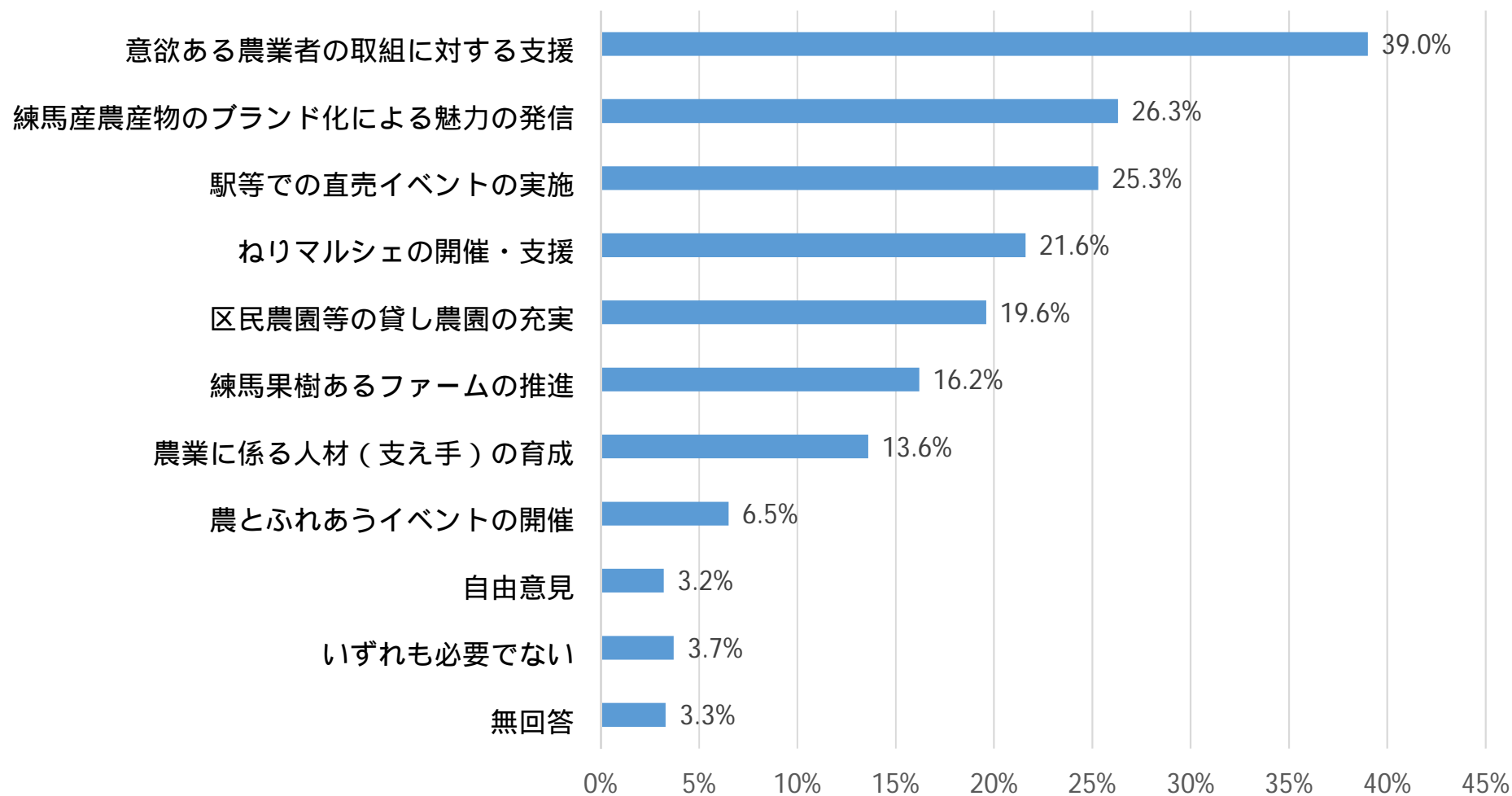
練馬区に農業があることについて (n = 1,432)



平成27年度 区民意向調査

## 5 今後の方向性(2) 求められる農業施策

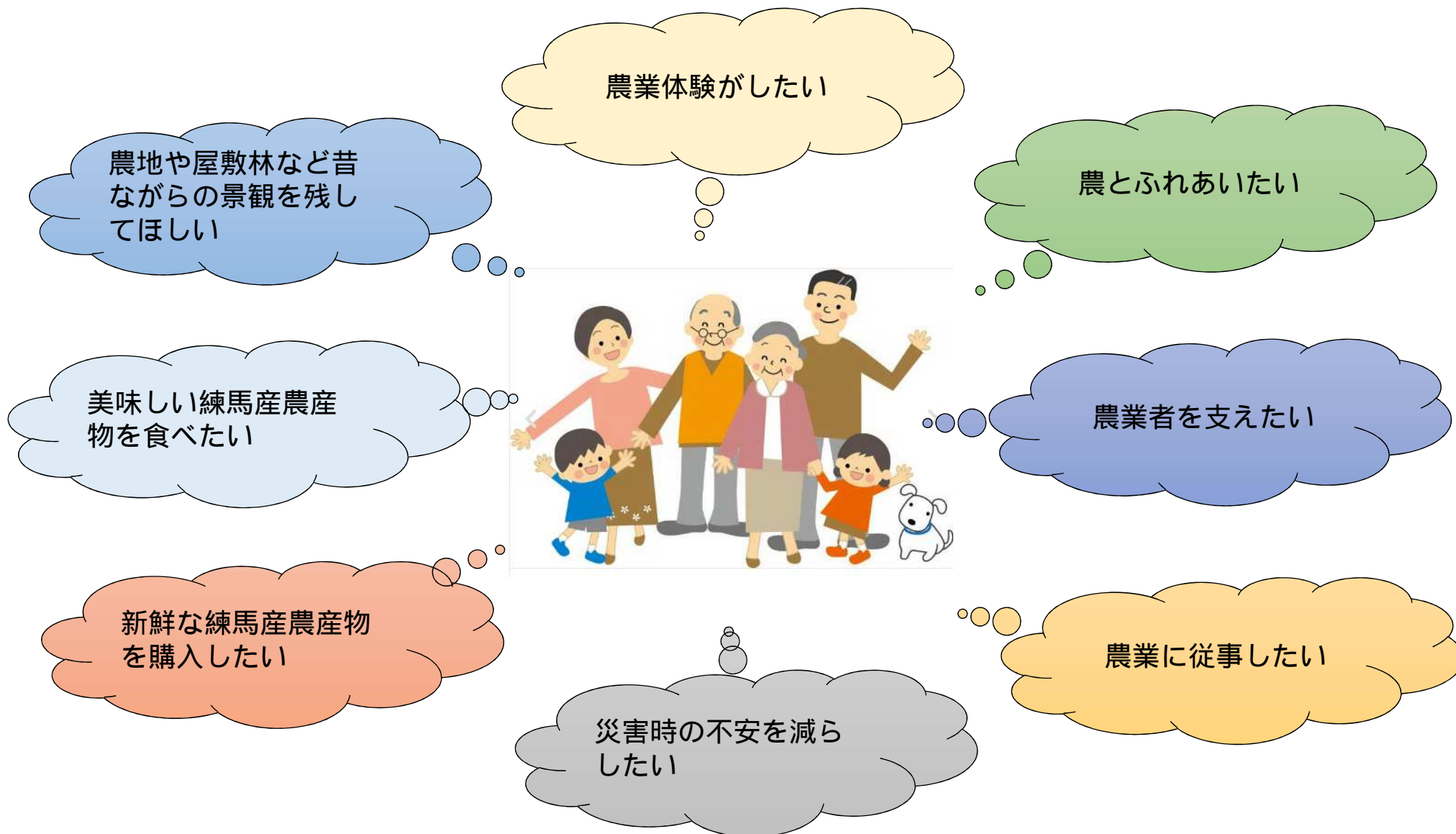
重要だと思う農業施策 (n=1,432) (2つまで回答可)



平成27年度 区民意向調査



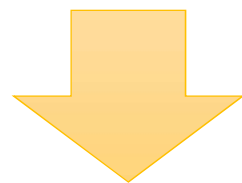
## 5 今後の方向性(3) 区民の思い



## 5 今後の方向性(4) これからのまちの「かたち」

### 都市農地・農業の魅力

○新鮮な農産物を供給する機能 ○防災の機能 ○農業体験・交流の場の機能 等



都市農業は今後の都市生活を  
さらに豊かにする！！

## 6 これからの取組

### (1) 世界都市農業サミット開催

平成31年（2019年）

練馬区は、世界の大都市東京において、市民生活と融合した農業が営まれており、都市の中に農地が存在し、農業が産業として営まれていることは世界的にも稀有である。

農業が融合する都市の魅力と可能性を、国内はもとより世界に発信するために、海外の都市から行政関係者や農業者等を招聘し、世界都市農業サミットを開催する。



国連大学が練馬区を視察

# 世界都市農業サミット 開催のねらい

- (1) 都市農業の存在意義や魅力に関する認識が世界で共有され、都市農業の今後の発展につなげること
- (2) 都市農業に関するネットワーク化と情報共有が進み、新たな取組を広げること
- (3) 都市農業に対する誇りと意欲が高まること



ニューヨークの屋上農園



ロンドンの市民農園

# 世界都市農業サミット 概要

## 世界都市農業サミット プレイベント

- (1)日程 平成30年11月24日(土)～11月25日(日)  
(2)内容 都市農業関係者や有識者によるシンポジウム 等

## 世界都市農業サミット

- (1)日程 平成31年11月29日(金)～12月1日(日)  
(2)会場 練馬文化センター他

11月29日(金)	11月30日(土)	12月1日(日)
【午後】 練馬の都市農業を体験・ 視察	【午前】 全員参加型の体験イベント  【午後】 分科会形式 ・意見交換等	シンポジウム形式 ・事例発表 ・パネルディスカッション ・サミット宣言 等

## (2) 農業振興の各種取組

- 1 農業者による農業体験農園の開設を促進
- 2 障がいがある方が農業に関われる福祉機能を持った農園の開設
- 3 農地の防災機能をさらに引き出し、災害時の区民の安心を確保
- 4 練馬産農産物が購入できるマルシェ等の拡充
- 5 6次産業化への取組の支援、農商連携の推進
- 6 練馬果樹あるファームの拡充
- 7 先進的な農業に取り組む農業者を支援
- 8 希望する区民が市民農園・区民農園を利用できる環境の拡充

